

計画している。槽川と宗賀は月2回、洗馬は月1回の実施を予定している。この地区は特に、高齢化率が高く、高齢者の移動手段と買い物対策が課題となっており、モデル的に実施して要望に応えていく。

◆駅前トイレの整備を

問 中山道を歩く観光客が増えてきている。その状況を受けて木曽路の各町村はJRの駅前トイレを町村の負担で整備を進めている。市としても整備して観光客の要望に応えていく考えは。

答 駅前周辺のトイレの需要は高まっているのでJRとも協議をしながら、施設の更新や便器の洋式化など利用者の立場に立った整備を検討していく。

問 日出塩駅前のトイレの設置はいつになるか。

答 31年度、市で設置していく。

問 洗馬駅のトイレは大



洗馬駅トイレ

変に古く、使用に耐えたい。早期に整備されたい。

答 JRへ要請するとともに市としても検討する。

◆緩衝帯整備で松くい虫被害の食い止めを

問 松くい虫被害の昨年度との比較と地域別被害箇所数はどうか。

答 本年度の松くい虫被害は11月末現在で139箇所となり、昨年度の同期63箇所との比較で、2倍以上に及んでいる。地域別での被害状況は、最も被害が発生している広丘地区が64箇所、次いで片丘地区が42箇所と、市の北部と西部に約8割

の被害が集中している。

問 広丘地区のごとに被害が多いのか。

答 広丘堅石地籍奈良井川左岸段丘林に被害が集中している。

問 片丘地区と同じように緩衝帯を作って松本方面からの被害を食い止める必要があると思うがどうか。

答 今年度、片丘地区に加え、奈良井川左岸段丘林を松本境から南へ800m整備する。また、来年度は、洗馬地区での被害拡大が危惧されることから、岩垂の真正寺付近まで2000m緩衝帯整備を予定している。

新 政 会

質 問 者
金子 勝寿



持ち時間125分

金田 興一・牧野 直樹
横沢 英一・赤羽 誠治

広丘地区に

新工業団地を

研究へ

◆企業誘致―野村桔梗ヶ

原工業団地整備準備加速
問 市内へ進出する企業の受け皿となる工業団地の整備状況は。

答 市長選挙においても、工業団地整備による年間移住者の増加を公約に掲げる中、多くの皆様から要望を受けている。新たな工業団地の整備を着実かつスピード感を持って進める。また、現在進めている野村桔梗ヶ原工業団地の整備は、2020年度には土地区画整理組合の設立を県へ申請する予定。これとは別に、研究段階ではあるが、広丘地区に新たに工業団地を整備する研究を進めている。

◆住宅地整備

問 塩尻駅北区画整理事業の進捗状況は。

答 平成30年7月より造成工事が始まり、本年度内に完成する。保留地40区画は直販と住宅メーカーへの販売を計画してい



塩尻駅北区画整理事業

る。うち、10区画は平成31年1月に一般向け公募を開始する。

◆地域学習と地域を知る取り組み

問 地域の歴史や文化を次世代に知ってもらう取り組みの場の提供をさらにできないか。

答 市の教育基本計画に定める「本市の目指す教育と方向性」において、「郷土を知り誇りと愛着を持ったひと」を育てたい人間像として掲げている。郷土に対する誇りと愛着は、地域のよさを体験し、気づき、自分のものとする学びを通して